

# 企業と学生接点必要

## 職員ら 就職支援で研修会

就職戦線が厳しさを増す中、大学生の就職支援のあり方を学ぶ研修会が、金沢市広坂の大学コンソーシアム石川で開かれた。県内の大学や短大など二十機関でつくる大学コンソーシアム石川が主催した。

就職情報サイト運営



「企業と学生の接点を増やすことが大切」と話す寺沢氏＝金沢市広坂の大学コンソーシアム石川で

会社「採用プロドットコム」（東京都）の寺沢康介代表取締役が「2011 就職戦線を占う」の題で講演。各企業の採用担当者は学生にコミュニケーション能力を求めていることや、学生の大手企業志向が強まっていることを紹介し「企業と学

生の接点を増やすことが必要」と話した。

テレビ会議回線で、金城大（白山市）や小松短大（小松市）など三会場にも中継され、大学や短大の就職支援担当職員ら計約四十人が参加した。（谷岡聖史）

### 学生の就職支援考える

大学コンソーシアム石川の第2回FD研修会は30日、金沢市の県広坂庁舎で開かれ、大学の就職支援や企業の採用担当者が2011年度の就職展望に理解を深め、学生への適切な指導の在り方を考えた。

採用プロドットコム（東京）の寺澤康介社

長が最近の就職戦線について、「企業側は量より質を求めている、優秀な人材を求めて積極的に大学に向いている」と分析。一方で「OB・OG訪問など行動を起こせない『草食系』の学生が多い」と指摘した。

研修会は教員の学生支援などの能力向上を目的に、文部科学省の戦略的連携支援事業として開かれた。